

教育基礎学専攻

専門科目(教育基礎学専攻)

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時間 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|-----------------|------|-----|--------|------|-----|--------|-------|--|-------------|
| 02JB101 | 教育哲学研究法I | 2 | 3.0 | 1-3 | 通年 | 応談 | | 平井 悠介 | 教育哲学の思考法を理解するために、教育哲学における基本文献を講読し、研究課題について議論する。また、議論を通じて得られた研究知見を現代的課題の探究へと応用する論文を作成するための研究指導も併せて行う。講読する基本文献は、John Dewey, Democracy and Education(1916)とし、外国語文献を理解するための研究方法を理解するとともに、教育目的を内在的にとらえるデュイ思想に教育哲学的思考の一つのあり方を理解することを目指す。 | 0BTA201と同一。 |
| 02JB102 | 教育哲学研究法II | 2 | 3.0 | 1-3 | 通年 | 随時 | | 平井 悠介 | 教育哲学における研究動向について議論し、論文作成のための研究指導を行う。 | |
| 02JB103 | 教育哲学研究法III | 2 | 3.0 | 1-3 | 通年 | 随時 | | 平井 悠介 | 教育哲学の思考法を理解、深化させるために、近代教育学の探究の外に置かれた家庭をめぐる課題を探究する教育哲学研究を講読し、当該分野の研究課題について議論する。また、議論を通じて得られた研究知見を応用した論文を作成するための研究指導を併せて行う。講読する基本文献は、Harry Brighouse and Adam Swift, Family Values(2014)とし、現代教育哲学の研究課題、および論争点を理解するとともに、国家と家庭の対立の調停という教育哲学的課題の探究を深めることを目指す。 | 0BTA203と同一。 |
| 02JB111 | 日本教育史研究法I | 2 | 3.0 | 1-3 | 通年 | 水6 | 人間A505 | 平田 諭治 | 日本教育史における研究課題について議論し、論文作成のための研究指導を行う。 | |
| 02JB112 | 日本教育史研究法II | 2 | 3.0 | 1-3 | 通年 | 応談 | | 平田 諭治 | 日本教育史における研究動向について議論し、論文作成のための研究指導を行う。日本の教育・文化の歴史的構造をグローバル・スケールで考えるために研究動向を把握し、国民教育システムの形成・確立・変容を、帝国規模の変動や国際関係の力学と重ねながら、具体的かつ実証的に解き明かすことを目指す。近現代を中心とするが、日本教育史の全般を視野に入れることを心がけ、ナショナリズム/オリエンタリズム/コロニアリズムとの結びつきを調査する。 | 0BTA222と同一。 |
| 02JB113 | 日本教育史研究法III | 2 | 3.0 | 1-3 | 通年 | 応談 | | 平田 諭治 | 日本教育史における研究方法について議論し、論文作成のための研究指導を行う。日本の教育・文化の歴史的構造をグローバル・スケールで考えるための研究方法を構想し、国民教育システムの形成・確立・変容を、帝国規模の変動や国際関係の力学と重ねながら、具体的かつ実証的に解き明かすことを目指す。近現代を中心とするが、日本教育史の全般を視野に入れることを心がけ、ナショナリズム/オリエンタリズム/コロニアリズムとの結びつきを方法化する。 | 0BTA223と同一。 |
| 02JB121 | 外国教育史研究法I | 2 | 3.0 | 1-3 | 通年 | 集中 | | | 外国教育史における研究課題について議論し、論文作成のための研究指導を行う。 | |
| 02JB122 | 外国教育史研究法II | 2 | 3.0 | 1-3 | 通年 | 集中 | | | 外国教育史における研究動向について議論し、論文作成のための研究指導を行う。 | |
| 02JB123 | 外国教育史研究法III | 2 | 3.0 | 1-3 | 通年 | 集中 | | | 外国教育史における研究方法について議論し、論文作成のための研究指導を行う。 | |
| 02JB131 | 生涯学習・社会教育学研究法I | 2 | 3.0 | 1-3 | 通年 | 応談 | | 上田 孝典 | 生涯学習・社会教育学に関する研究について、基本文献や最新の学術文献を講読するとともに、関連領域を含めた歴史、思想、法制度、政策、行政などについて理解を深め、研究の基盤となる知見を習得する。そのうえで、それぞれの研究テーマに関わる先行研究について発表しあい、研究の到達点や残された課題、新しい研究方法や研究の視点などについて受講生の間で討議を行うことで、研究論文を作成するために必要な研究能力を育てる。 | 0BTA231と同一。 |
| 02JB132 | 生涯学習・社会教育学研究法II | 2 | 3.0 | 1-3 | 通年 | 応談 | | 上田 孝典 | 生涯学習・社会教育学に関する研究課題について、国内外の研究動向を踏まえながら、各自の課題意識や研究関心を探求し、研究テーマの検討を行う。そのうえで、それぞれの研究テーマについて発表しあい、問題の所在やテーマの妥当性、研究の意義などについて受講生の間で討議を行うことで、研究論文を作成するために必要な研究能力を育てる。 | 0BTA232と同一。 |

| | | | | | | | | | | |
|---------|----------------------|---|-----|-----|--------------------|----------------|------------|-----------------|--|-------------|
| 02JB133 | 生涯学習・社会教育学 研究法III | 2 | 3.0 | 1-3 | 通年 | 随時 | | 上田 孝典 | 生涯学習・社会教育学に関する研究方法について、国内外の先行研究を踏まえながら、各自の研究テーマに即した方法論を検討する。そのうえで、それぞれの研究方法について発表しあい、課題と方法の整合性や理論的枠組みの考察、調査方法の正確性、仮説の設定と結論を導く論理構成などについて受講生の間で討議を行うことで、研究論文を作成するために必要な研究能力を育てる。 | 0BTA233と同一。 |
| 02JB141 | 教育制度学研究法I | 2 | 3.0 | 1-3 | 通年 | 応談 | | 藤井 穂高 | 教育制度学における研究課題の設定について検討する。研究課題の設定の仕方考えるのに適切な先行研究を検討する。そのうえで、各受講生の研究課題について発表しあい、各自の研究関心に関わる最新の研究動向について討議する。これらのことを通して論文作成のための研究指導を行う。 | 0BTA241と同一。 |
| 02JB142 | 教育制度学研究法II | 2 | 3.0 | 1-3 | 春A 春BC秋A 秋BC | 随時 応談 応談 | | 藤井 穂高 | 教育制度学における研究方法のあり方について検討する。研究課題に応じて適切な研究方法を考えるのに適切な先行研究を検討する。そのうえで、各受講生の研究課題について発表しあい、各自の研究関心に関わる最新の研究動向について討議する。これらのことを通して論文作成のための研究指導を行う。 | 0BTA242と同一。 |
| 02JB143 | 教育制度学研究法III | 2 | 3.0 | 1-3 | 通年 | 随時 | | 藤井 穂高 | 教育制度学における先行研究について検討する。研究課題を設定する際の先行研究の踏まえ方について適切な先行研究を検討する。そのうえで、各受講生の研究の枠組みについて発表しあい、各自の研究関心に関わる最新の研究動向について討議する。これらのことを通して論文作成のための研究指導を行う。 | 0BTA243と同一。 |
| 02JB151 | 教育行政学研究法I | 2 | 3.0 | 1-3 | 通年 | 火6 | 人間 B513 | | 教育行政学における研究課題について議論し、論文作成のための研究指導を行う。 | |
| 02JB152 | 教育行政学研究法II | 2 | 3.0 | 1-3 | 通年 | 随時 | | 藤井 穂高 | 教育行政学における研究動向について議論し、論文作成のための研究指導を行う。 | |
| 02JB153 | 教育行政学研究法III | 2 | 3.0 | 1-3 | 通年 | 随時 | | 藤井 穂高 | 教育行政学における研究方法について議論し、論文作成のための研究指導を行う。 | |
| 02JB154 | 教育計画論研究法I | 1 | 3.0 | 1-3 | 通年 | 随時 | | 大谷 奨 | 教育計画論における研究方法について議論し、論文作成のための研究指導を行う。 | |
| 02JB161 | 学校経営学研究法I | 2 | 3.0 | 1-3 | 通年 | 応談 | | 濱田 博文, 佐藤 博志 | 学校経営学についての基本文献を講読するとともに、戦後の学校経営に関する教育政策の歴史的展開をたどりながら、研究の基礎となる概念や理論について理解を深める。そのうえで、各受講生の研究的な関心について発表しあい、各自の研究関心に関わる最新の教育政策および研究の進展について討議し、学校経営学の最新の研究動向を把握する。これらのことを通して、各受講生が論文作成をおこなうための研究課題を明確にして、論文作成のために必要な研究能力を育てる。 | 0BTA251と同一。 |
| 02JB162 | 学校経営学研究法II | 2 | 3.0 | 1-3 | 通年 | 応談 | | 濱田 博文, 佐藤 博志 | 学校経営学についての最新の学術文献を講読するとともに、近年の学校経営に関する教育政策の展開をたどり、発展的な研究の基礎となる概念や理論について理解を深める。そのうえで、各受講生の研究主題と研究課題について発表しあい、それに関わる最新の教育政策および最新の研究状況について討議し、学校経営学の最新の研究方法の在り方を把握する。これらのことを通して、各受講生が明確にした研究課題を踏まえながら適切な研究方法の在り方を検討して、論文作成のために必要な研究能力を育てる。 | 0BTA252と同一。 |
| 02JB163 | 学校経営学研究法III | 2 | 3.0 | 1-3 | 通年 | 随時 | | 濱田 博文, 佐藤 博志 | 学校経営学についての最新の学術文献を講読するとともに、近年の学校経営に関する教育政策の展開をたどり、発展的な研究を推進するための最先端の基礎概念や理論について理解を深める。そのうえで、各受講生の研究主題と研究課題、ならびに研究方法の具体について発表しあい、同時に最新の教育政策および最新の研究状況について討議し、学校経営学の最新の研究課題と研究方法の在り方を把握する。これらのことを通して、各受講生が明確にした研究課題を踏まえながら適切な研究方法の在り方を検討するとともに、論文全体の構成を吟味し、論文作成のための総合的な能力を育てる。 | 0BTA253と同一。 |

| | | | | | | | | | |
|---------|----------------|---|-----|-----|----|----|----------------------------|---|-------------|
| 02JB171 | 比較・国際教育学研究法I | 2 | 3.0 | 1-3 | 通年 | 応談 | 川口 純, 菊地 かおり, タスタンベコフ クアニシ | 比較・国際教育学における研究課題について議論し、論文作成のための研究指導を行う。比較教育学研究の系譜を学ぶとともに教育理念・思想、教育制度・政策、教育内容と方法などを研究対象とするさいに、比較・国際教育学の視点から設定できる研究課題の枠組みに焦点を当てて関連文献の検討を行う。さらに、比較教育学研究における研究者のアイデンティティとポジションナリティ形成に焦点を当てて、研究倫理に関する指導を行う。 | OBTA261と同一。 |
| 02JB172 | 比較・国際教育学研究法II | 2 | 3.0 | 1-3 | 通年 | 応談 | 川口 純, 菊地 かおり, タスタンベコフ クアニシ | 比較・国際教育学における研究動向について議論し、論文作成のための研究指導を行う。特に、比較教育学研究の歴史的展開において各時代における研究動向を関連文献の検討を通して整理する。また、研究対象別に各時代、各地域の政治・経済・社会体制の違いによる研究動向の特徴を捉える。冷戦の終焉、グローバル化と新自由主義の進展が各国の教育に与える影響を分析する研究の標準化に関する批判的検討を行い、研究の独自性、学術的価値について議論する。 | OBTA262と同一。 |
| 02JB173 | 比較・国際教育学研究法III | 2 | 3.0 | 1-3 | 通年 | 随時 | 川口 純, 菊地 かおり, タスタンベコフ クアニシ | 比較・国際教育学における研究方法について議論し、論文作成のための研究指導を行う。比較教育学研究における質的調査と量的調査の特徴を把握し、研究対象の地域的、政治・経済・社会的特徴に対応した研究方法について関連文献の検討を通して議論する。研究対象に関わる一次資料の入手に必要な外国語運用能力、エスノグラフィー、ライフヒストリー、ライフストーリー、参与観察などの方法に求められる研究者ネットワークの課題について議論する。 | OBTA263と同一。 |
| 02JB181 | 教育組織開発論研究法I | 2 | 3.0 | 1-3 | 通年 | 随時 | 佐野 享子 | 教育組織開発論における研究課題について議論し、論文作成のための研究指導を行う。 | |
| 02JB182 | 教育組織開発論研究法II | 2 | 3.0 | 1-3 | 通年 | 随時 | 佐野 享子 | 教育組織開発論における研究動向について議論し、論文作成のための研究指導を行う。 | |
| 02JB183 | 教育組織開発論研究法III | 2 | 3.0 | 1-3 | 通年 | 随時 | | 教育組織開発論における研究方法について議論し、論文作成のための研究指導を行う。 | |
| 02JB191 | 教育社会学研究法I | 2 | 3.0 | 1-3 | 通年 | 応談 | 徳永 智子 | 教育社会学における研究課題の設定について検討する。研究課題の設定の仕方を考えるのに適切な先行研究を検討する。そのうえで、各受講生の研究課題について発表しあい、各自の研究関心に関わる最新の研究動向について討議する。これらを通して論文作成のための研究指導を行う。 | OBTA271と同一。 |
| 02JB192 | 教育社会学研究法II | 2 | 3.0 | 1-3 | 通年 | 応談 | 徳永 智子 | 教育社会学における研究方法のあり方について検討する。研究課題に応じて適切な研究方法を考えるのに適切な先行研究を検討する。そのうえで、各受講生の研究課題について発表しあい、各自の研究関心に関わる最新の研究動向について討議する。これらを通して論文作成のための研究指導を行う。 | OBTA272と同一。 |
| 02JB193 | 教育社会学研究法III | 2 | 3.0 | 1-3 | 通年 | 随時 | 徳永 智子 | 教育社会学における国際的な研究課題とそのための研究方法について検討する。そのために適切な先行研究を検討する。そのうえで、各受講生の研究課題について発表しあい、各自の研究関心に関わる最新の研究動向について討議する。これらを通して論文作成のための研究指導を行う。 | OBTA273と同一。 |
| 02JB211 | 高等教育論研究法I | 2 | 3.0 | 1-3 | 通年 | 応談 | 田中 正弘 | 質的研究法の基礎を学び、観察や面接などの実施方法を修得する。そして実際に、自らが立てた課題の解決に必要な、大学に関わるデータを収集する。それらのデータを用いて現象の説明を試み、その結果を論文にまとめ、その内容について受講生の間で批判的に討議する。これらの作業を通して、質的研究法を用いた論文作成のための知識・技能を身につける。 | OBTA211と同一。 |
| 02JB212 | 高等教育論研究法II | 2 | 3.0 | 1-3 | 通年 | 応談 | 田中 正弘 | 混合研究法の基礎を学び、質的調査と量的調査をつなぐ研究アプローチを修得する。そして実際に、自らが立てた課題の解決に必要な、大学に関わる質的・量的データを収集する。それらのデータを用いて仮説の検証を試み、その結果を論文にまとめ、その内容について受講生の間で批判的に討議する。これらの作業を通して、混合研究法を用いた論文作成のための知識・技能を身につける。 | OBTA212と同一。 |

| | | | | | | | | | | |
|---------|-------------|---|-----|-------|----|----|--|-------|--|-------------|
| 02JB213 | 高等教育論研究法111 | 2 | 3.0 | 1 - 3 | 通年 | 随時 | | 田中 正弘 | 比較教育学の研究方法を援用し、外国の大学を対象とする研究方法の基礎を学ぶ。そして実際に、自らが立てた課題の解決に必要な、大学に関わるデータを収集する。それらのデータの分析結果を論文にまとめ、その内容について受講生の間で批判的に討議する。これらの作業を通して、比較教育学の研究方法をを用いた論文作成のための知識・技能を身につける。 | 08TA213と同一。 |
|---------|-------------|---|-----|-------|----|----|--|-------|--|-------------|